

第1回 合志市カントリーパークリレーマラソン2014

4月29日 県農業公園に176チーム



一斉スタート

合志市カントリーパークリレーマラソンで一斉にスタートするランナーたち
=29日、同市の県農業公園カントリーパーク

カラフルなアフロで一体感

—— チームガラパゴス

○…カラフルなアフロヘアのカツラをかぶって走ったチームガラパゴス。リーダーの人材派遣業、宮崎義光さん(40)＝熊本市＝は「仲間と一体感をもって走ることができた」と爽やかな笑顔を見せた。宮崎さんの妻を通じた知人ら10人で出場。オレンジや黄色が交じった派手なカツラは、混み合うリレーゾーンでもひととき目立った。「たすきの受け渡しがしやすかった」とメンバー。狙い通りスムーズにリレーで完走し、互いの健闘をたたえ合った。



元気と勇気 子どもに届け

—— 黒石原支援学校チーム

○…黒石原支援学校(合志市)チームは職員や看護師、生徒の家族合わせて11人で一般の部にエントリー。懸命に走り継ぎ、3時間36分58秒でフィニッシュした。リーダーで同校職員の宮崎忠士さん(29)は「学校の子どもたちに元気と勇気を届けたかったから」と力走に息を弾ませた。昨秋の第1回熊本リレーマラソンにも同じメンバーで挑んだという。ゴール近くに駆けつけた生徒を勇気づける姿

絆深まる 笑顔ラン

「第1回合志市カントリーパークリレーマラソン2014」(同市・熊日主催、東京エレクトロン九州協賛)は4月29日、同市の県農業公園で開かれ、市民ランナーのチームが新緑の中を駆け抜けた。176チームの1444人がフルマラソンと同じ42.195kmに挑戦。1周2kmのコースでたすきをつないだ。舞台は未舗装区間が約4割を占める特設のクロスカントリーコース。タイムにこだわり懸命に走るチームあり、笑顔いっぱい楽しく走るチームありと、初めての大会は熱気や歓声に終日包まれた。
(文・野方信助、三室久徳、写真・横井誠、岩崎健示)



仲間とともに

チームメイトと手をつないでフィニッシュ

新緑に囲まれ

たち 新緑の中を走り抜けるラン

